

付録

危機管理（震災対策等）にかかる調査票

全公図 調査研究事業「危機管理(震災対策等)」調査票【共通】

地方公共団体コード(半角)		自治体名	
図書館名		記入者 職・氏名	
電話番号		メールアドレス	

【問1 図書館概要】平成24年4月1日現在の状況をお答えください。(Ⅰ欄)(Ⅱ欄)は下記の選択肢からお選びください。

(Ⅰ欄)自治体人口規模		(Ⅲ欄)図書館設置年(西暦)	
(Ⅱ欄)自治体区分		(Ⅳ欄)同一自治体内の公立図書館数	

＜選択肢＞

【Ⅰ欄 自治体人口規模(都道府県)】

- ア 百万人未満
- イ 百万人超～五百万人
- ウ 五百万人超～一千万人
- エ 一千万人超

【Ⅰ欄 自治体人口規模(市区町村)】

- ア 四万人未満
- イ 四万人超～十万人以下
- ウ 十万人超～五十万人以下
- エ 五十万人超

【Ⅱ欄 自治体区分(市区町村のみ)】

- ア 政令指定都市
- イ 市
- ウ 町村
- エ 特別区

* 地震とそれに伴う災害の危機管理についてお答えください。

【問2 過去の被災の有無】 過去20年の間(1992年1月以降)に、貴自治体の図書館は、地震で被災したこと(通常業務では復旧困難な書架からの資料の落下・散乱や汚破損の生じた地震規模以上を想定。地震が原因で生じた津波や土砂による被災も含む)がありますか。被災がある場合には、その時の地震名と発生年月をお分かりになる範囲内で御記入ください。地震の名称が特にならない場合は、地震発生年月のみを御記入ください。また、何回か被災がある場合は、貴自治体の図書館が最も影響を受けた被災地震1つをお答えください。

回答欄	地震の名称	発生年月(西暦)	
		年	月

＜選択肢＞

- ア ある
 - イ ない
 - ウ わからない(記録や記憶にない)
- } 問22へ

【問3 被災した地震の大きさ】 問2で「ア」と回答された館の方におたずねします。その地震の貴自治体での最大震度は、いくつでしたか。

回答欄	＜選択肢＞	
	ア 震度7	カ 震度4
	イ 震度6強	キ 震度3以下
	ウ 震度6弱	ク わからない(記録や記憶にない)
	エ 震度5強	
	オ 震度5弱	

* 問4から問21については、これまでに貴自治体の図書館が最も影響を受けた被災地震について、お答えください。

【問4 住民への情報提供】

① 図書館資料以外の情報を住民に提供しましたか。

回答欄	＜選択肢＞	
	ア 提供した	} 問5へ
	イ 提供しなかった	
	ウ 自館が被災したため提供できなかった	

② ①で提供した情報の種類をすべて挙げてください。(複数回答可)

回答欄					備考

＜選択肢＞

- ア 地震情報
- イ 交通機関情報
- ウ 医療機関情報
- エ 天気予報
- オ 国の機関や政府発表情報
- カ 生活支援情報
- キ その他 → 備考欄に具体的に御記入ください。

【問5 被災直後の状況等】

① 被災により、図書館はどのような状況になりましたか。(複数回答可)

回答欄①					備考

＜選択肢＞

- ア 完全閉鎖(移転、立て替えを含む) ⇒ 問6へ
- イ 一部閉鎖
- ウ 休館
- エ 開館時間の短縮
- オ 開館継続(一部サービスに制限あり)
- カ 通常どおり開館
- キ その他 → 具体的に備考欄に御記入ください。

② ①で「ア、イ、ウ、エ、オ、キ」と回答された館の方におたずねします。そのようになった要因は何ですか。(複数回答可)

回答欄②							備考

《選択肢》

- ア 建物の甚大な被害
- イ 設備の損壊(ガラスや館内水道管の破裂等)
- ウ ライフライン(水道、電気、ガス)の停止
- エ 液状化による被害
- オ 図書館資料の落下、散乱(損傷、散逸も含む)
- カ 電算システムの停止(損壊も含む)
- キ 勤務可能な職員数の不足
- ク その他 → 具体的に備考欄に御記入ください。

③ ①で「ア、イ、ウ、エ、オ」と回答された館の方におたずねします。通常開館できるようになるまで、どのくらいの時間がかかりましたか。

回答欄③

《選択肢》

- ア 1年以上
- イ 半年以上～1年未満
- ウ 3ヶ月以上～半年未満
- エ 1ヶ月以上～3ヶ月未満
- オ 2週間以上～1ヶ月未満
- カ 1週間以上～2週間未満
- キ 2日以上～1週間未満
- ク 1日
- ケ 開館できなかった
- コ わからない

【問6 資料の被災状況】 所蔵資料の被災はどの程度ありましたか。被災冊数が判明している場合は、冊数も記入してください。なお、同一自治体内に複数館がある場合は、合算した全体の冊数をお答えください。

回答欄	被災冊数(記入例:約12,000冊)	
	約	冊

《選択肢》

- ア 所蔵資料の8割以上～すべて
 - イ 所蔵資料の半数以上～8割未満
 - ウ 所蔵資料の2割以上～半数未満
 - エ 所蔵資料の2割未満
 - オ 所蔵資料の被害はなし
 - カ 被害の程度は不明
- } 問12へ

【問7 資料の被災状況の把握】 所蔵資料の被災状況の把握(冊数、状態など)にはどの程度の時間がかかりましたか。

回答欄

《選択肢》

- ア 1年以上
- イ 半年以上～1年未満
- ウ 3ヶ月以上～半年未満
- エ 1ヶ月以上～3ヶ月未満
- オ 2週間以上～1ヶ月未満
- カ 1週間以上～2週間未満
- キ 2日以上～1週間未満
- ク 地震当日中
- ケ わからない

【問8 資料が通常利用できるまでの時間】 復旧可能な資料について、資料が利用できる状況になるまで、どの程度の時間がかかりましたか

回答欄

《選択肢》

- ア 1年以上
- イ 半年以上～1年未満
- ウ 3ヶ月以上～半年未満
- エ 1ヶ月以上～3ヶ月未満
- オ 2週間以上～1ヶ月未満
- カ 1週間以上～2週間未満
- キ 2日以上～1週間未満
- ク 地震当日中
- ケ わからない

【問9 資料の復旧に従事した職員等】 資料の復旧に携わった職員等について、あてはまるものを選んでください。(複数回答可)

回答欄							備考

《選択肢》

- ア 通常、図書館に勤務している職員(正規、嘱託、臨時、アルバイト、委託など)
- イ 専門機関(文書館・博物館等)に勤務している職員
- ウ 図書館・専門機関以外に勤務している自治体職員
- エ ボランティア(地元の応援。学生も含む)
- オ ボランティア(他の自治体からの応援。学生も含む)
- カ 他県からの応援職員(派遣職員も含む)
- キ その他 → 備考欄に具体的に御記入ください。

【問10 実施した対策】 資料の復旧に際して、もしくは復旧後に実施した対策がありますか。(複数回答可)

回答欄				備考

《選択肢》

- ア 書架の転倒防止対策
- イ 資料の落下防止対策(落下防止バー等の設置)
- ウ 専門機関との連携
- エ 特に何もしなかった
- オ その他 → 備考欄に具体的に御記入ください。

【問11 資料の復旧で困ったこと】資料の復旧に携わって、困ったり悩んだりしたことがあれば、箇条書きで簡潔に御記入ください。(自由記述)

--

【問12 システムの被災状況の把握】図書館で使用しているシステム(OPAC、サーバ、データセンタ、通信環境等)の被災状況の把握にはどの程度の時間がかかりましたか。

回答欄

《選択肢》

- | | | |
|---------------|----------------|--------|
| ア 1ヶ月以上 | オ 地震当日中 | |
| イ 2週間以上～1ヶ月未満 | カ システムを導入していない | ⇒ 問18へ |
| ウ 1週間以上～2週間未満 | キ わからない | |
| エ 2日以上～1週間未満 | | |

【問13 システムの被災状況】システムの被災はどの程度ありましたか。(複数回答可)

回答欄					備考

《選択肢》

- ア 全損など復旧不可能な状態(例:サーバ等が物理的に壊れた。流失してなくなった。)
- イ データ(所蔵情報、貸出情報等)の消失
- ウ 通信環境の遮断
- エ 上掲ア～ウ以外の被害があった → 備考欄に簡潔に御記入ください。
- オ 被害なし ⇒ 問18へ

【問14 システムの復旧するまでの時間】システムが利用できる状況になるまで、どの程度の時間がかかりましたか。

回答欄

《選択肢》

- | | |
|---------------|---------------|
| ア 1年以上 | カ 1週間以上～2週間未満 |
| イ 半年以上～1年未満 | キ 2日以上～1週間未満 |
| ウ 3ヶ月以上～半年未満 | ク 地震当日中 |
| エ 1ヶ月以上～3ヶ月未満 | ケ わからない |
| オ 2週間以上～1ヶ月未満 | コ 現状も復旧できていない |

【問15 復旧に従事した職員等】システムの復旧に携わった職員等について、あてはまるものを選んでください。(複数回答可)

回答欄					備考

《選択肢》

- ア 契約している会社のシステムエンジニアなど
- イ 通常、図書館に勤務している職員(正規、嘱託、臨時、アルバイト、委託など)
- ウ 図書館以外に勤務している自治体職員
- エ 他の自治体からの応援職員(派遣職員も含む)
- オ その他 → 備考欄に具体的に御記入ください。

【問16 実施した対策】システムの復旧に際して、もしくは復旧後に実施した対策がありますか。(複数回答可)

回答欄					備考

《選択肢》

- ア 同一自治体内のクラウド化
- イ 自治体外でのクラウド化(データセンタ方式への変更)
- ウ システムデータバックアップの二重化
- エ 特に何もなかった
- オ その他 → 備考欄に具体的に御記入ください。

【問17 システムの復旧で困ったこと】システムの復旧に携わって、困ったり悩んだりしたことがあれば、箇条書きで簡潔に御記入ください。(自由記述)

--

【問18 被災記録、復旧・復興記録】当該地震による被災記録及び復旧・復興記録について、あてはまるものを選んでください。(複数回答)

① 被災記録についての回答欄					備考
② 復旧・復興記録についての回答欄					備考

《選択肢》

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| ア 図書館部分についての記録(新聞記事等を含む)を残した | エ 自館が被災したため記録は残せなかった |
| イ 自治体の記録(新聞記事等を含む)を残した | オ わからない |
| ウ 特別な記録は残さなかった | カ その他 → 備考欄に具体的に御記入ください。 |

【問19 支援の要請】 他の図書館や団体に支援を呼びかけましたか。

回答欄

《選択肢》

- ア 呼びかけた
 - イ 呼びかけなかった
- ⇒ 問22へ

【問20 支援要請の内容】 問19で「ア」と回答された館の方におたずねします。どのような支援を求めましたか。簡潔に御記入ください。
(自由記述)

--

【問21 支援受入れの内容】 問19で「ア」と回答された館の方におたずねします。ボランティアの支援の内容について、あてはまるものを選んでください。(複数回答可)

回答欄					備考

《選択肢》

- ア 図書館資料の整理・整備
- イ 図書館設備の復旧(転倒書架や机、椅子などの片づけ)
- ウ 子どもたちへの読み聞かせ等
- エ 支援を受けることができなかった。
- オ その他 → 備考欄に具体的に御記入ください。

【問22 計画停電への対応】 東日本大震災直後の東京電力管内で実施された計画停電について貴館ではどのような状況でしたか。
(複数回答可)

回答欄					備考

《選択肢》

- ア 開館時間を短縮した
- イ 休館した
- ウ 開館した
- エ 計画停電の対象地域外だった。
- オ その他 → 備考欄に具体的に御記入ください。

【問23 マニュアルの有無】 地震を想定した(危機管理)マニュアルがありますか。

回答欄	備考

《選択肢》

- ア 図書館独自のマニュアルがある
- イ 自治体としてのマニュアルがある
- ウ 複合施設のマニュアルがある
- エ 策定中、検討中
- オ マニュアルは作成していない
- カ その他 → 具体的に備考欄に御記入ください。

* 問23で「ア」「イ」「ウ」「カ」を選択した館のみお答えください。

【問24 マニュアル作成の時期】 マニュアルを作成したのはいつ頃ですか。

【東日本大震災以前】	【東日本大震災以降】
西暦 <input type="text"/> 年頃	西暦 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月

* マニュアルの内容についておたずねします。

【問25 マニュアルの構成】 マニュアルにはどんな項目が設定されていますか。(複数回答可)

回答欄							備考

《選択肢》

- ア 避難誘導
- イ 職場での分担
- ウ 機関への報告
- エ 在館者への対応
- オ 緊急時の連絡
- カ 広報
- キ 開館継続等の判断・周知方法
- ク その他 → 具体的に備考欄に御記入ください。

【問26 来館者への情報提供】 どのような手段を考えていますか。(複数回答可)

回答欄							備考

《選択肢》

- ア 館内放送
- イ テレビ等
- ウ ラジオ等
- エ SNS(フェイスブック等)
- オ 無線機等
- カ 電話
- キ 市区町村内の有線放送等
- ク その他 →具体的に備考欄に御記入ください。

【問27 地震発生時の来館者の誘導】 来館者の避難誘導について配慮していることがありますか。(複数回答可)

回答欄							備考

《選択肢》

- ア 誘導係を決めている
- イ 土曜日曜夜間などを想定している
- ウ 子ども・高齢者・障がい者への配慮がある
- エ 多言語での案内ができる
- オ 避難場所を決めている
- カ その他 →具体的に備考欄に御記入ください。

* 図書館独自のマニュアルを作成している図書館の、マニュアルの周知や活用の方法についておたずねします。問23で「ア 図書館独自のマニュアルがある」と回答された館の方は以下の問28～31をお答えください。

【問28 マニュアルの職員等への周知】 マニュアルは日ごろから職員が携行していますか。(複数回答可)

回答欄							備考

《選択肢》

- ア 一人一部ずつ携行している
- イ 部・課などの担当グループごとに携行している
- ウ 館に1部ある
- エ 各部局へも図書館作成のマニュアルを送付し周知している
- オ サービスポイント(各カウンター)に常備している
- カ その他→具体的に備考欄に御記入ください。

【問29 マニュアルの見直し】 マニュアルは定期的に見直しを行っていますか。

回答欄	備考

《選択肢》

- ア 改善点があれば随時見直す
- イ 年に1回見直す
- ウ 隔年に1回見直す
- エ 作成後まだ見直しを行っていない
- オ その他→具体的に備考欄に御記入ください。

【問30 マニュアル改訂の手順】 マニュアルの見直しや改訂の具体的な手順についてお答えください。

回答欄	備考

《選択肢》

- ア 図書館の職員が全員で見直しを行う
- イ 図書館の防災・危機管理担当の職員が主に見直しを行う
- ウ 本庁部局の職員も参加して見直しを行う
- エ その他→具体的に備考欄に御記入ください。

【問31 マニュアルの活用】 どのような時にマニュアルを使いますか。(複数回答可)

回答欄				ウの場合(頻度)	ウ「その他」の内容
(西暦)	エの場合				
	年		月		の時
備考					

《選択肢》

- ア 図書館の防災訓練の際には必ず使用する
- イ 本庁部局の職員を合わせた防災訓練の際には必ず使用する
- ウ 職員ミーティングの際には使用する(毎日・週1回・月1回・その他())
- エ 実際の自然災害時に使用した(西暦 年 月 の時)
- オ その他→具体的に備考欄に御記入ください。

* 図書館独自のマニュアルを作成していない図書館の、マニュアルの周知や活用の方法についておたずねします。問23で「イ 自治体としてのマニュアルがある」、「ウ 複合施設のマニュアルがある」、「カ その他」と回答された館の方は以下の問32~33をお答えください。

【問32 マニュアルの周知】 マニュアルは日ごろから職員が携行していますか。(複数回答可)

回答欄				備考	

《選択肢》

- ア 一人一部づつ携行している
- イ 部・課などの担当グループごとに携行している
- ウ 館に1部ある
- エ サービスポイント(各カウンター)に常備している
- オ 今のところマニュアルはない
- カ その他→具体的に備考欄に御記入ください。

【問33 マニュアルの活用】 どのような時にマニュアルを使いますか。(複数回答可)

回答欄				ウの場合(頻度)	ウ「その他」の内容
(西暦)	エの場合				
	年		月		の時
備考					

《選択肢》

- ア 図書館の防災訓練の際には必ず使用する
- イ 本庁部局の職員を合わせた防災訓練の際には必ず使用する
- ウ 職員ミーティングの際には必ず使用する(毎日・週1回・月1回・その他())
- エ 実際の自然災害時に使用した(西暦 年 月 の時)
- オ 今のところマニュアルはない
- カ その他→具体的に備考欄に御記入ください。

【問34 事業継続計画の有無】 図書館の関係する事業継続計画(BCP)を策定していますか。

回答欄	ア、イ、ウの場合：策定(予定)年月(西暦)	
	年	月

《選択肢》

- ア 策定済み
- イ 現在策定中
- ウ 自治体の策定した計画に組み込まれている
- エ 今後策定予定
- オ 策定していない

* 地震を想定した防災対策についておたずねします。以下の質問にお答えください。

【問35 防災訓練の実施状況】 図書館で行う防災訓練の実施状況についておたずねします。図書館ではどのような訓練を行っていますか。もしくは参加していますか。

① 実施頻度

回答欄①	備考

《選択肢》

- ア 年2回以上
- イ 年1回
- ウ 地震を想定した防災訓練は行っていない
- エ その他 →具体的に備考欄に御記入ください。

② 主体(複数回答可)

回答欄②					備考

《選択肢》

- ア 図書館独自
- イ 図書館と本庁部局
- ウ 地域の住民や利用者と合同で行う
- エ その他 →具体的に備考欄に御記入ください。

③ 参加者(複数回答可)

回答欄③					備考

《選択肢》

- ア 専任以上の職員
- イ 臨時職員等非専任を含む
- ウ 指定管理者、委託会社の職員を含む
- エ 地域の住民や利用者を含む
- オ その他 →具体的に備考欄に御記入ください。

④ 内容(複数回答可)

回答欄④					備考

《選択肢》

- ア 避難、救護、搬出(原簿・台帳・貴重資料等)
- イ 消火器具の使用
- ウ 避難器具の使用
- エ 無線放送の使用
- オ 土のう設置・がれき除去等
- カ その他 →具体的に備考欄に御記入ください。

【問36 問35以外の防災訓練】 上記以外の、地震を想定した防災訓練(通常の防災訓練は除きます)の実施状況についておたずねします。図書館ではどのような訓練を行っていますか。もしくは参加していますか。(複数回答可)

回答欄					備考

《選択肢》

- ア 自治体職員の非常参集訓練
- イ 自治体職員の徒歩による帰宅訓練
- ウ 自治体職員の図上訓練・図上演習
- エ 救急救命講習会(心肺蘇生法・AED使用法)
- オ 隣接の都道府県や指定都市、あるいは提携自治体と連携して行う訓練
- カ 問35以外の訓練は行っていない
- キ その他→具体的に備考欄に御記入ください。

* 建物や設備の日常の地震対策についておたずねします。以下の質問にお答えください。

【問37 設備面の地震対策】 図書館の設備で地震対策を行っているものはありますか。以下からお選びください。(複数回答可)

① 非常用品・用具の備え

回答欄 ①					備考

《選択肢》

- ア 携行品や用具(ヘルメット メガホン ハンドマイク トランシーバー ホイッスル 懐中電灯 ランタン 携帯ラジオ 携帯電話充電 工具 担架 作業着 長靴 スコップ 土のう袋 等)
- イ 個人用の避難袋(定期的の中身を取りかえる)
- ウ 利用者にも提供可能な備蓄(雨具 防災ずきん 毛布 ブルーシート 組立式トイレ 飲料水 非常食 等)
- エ AED(自動体外式除細動器)
- オ 特に準備していない
- カ その他→具体的に備考欄に御記入ください。

② 防災関連の措置

回答欄 ②					備考

《選択肢》

- ア 窓等にガラス飛散防止フィルムを貼る
- イ 固定金具やはすかい等書架の転倒防止措置を行う
- ウ パソコンのディスプレイやその他の機器類に転倒防止措置を行う
- エ 書架に図書の落下防止装置を導入する
- オ 特に行っていない
- カ その他→具体的に備考欄に御記入ください。

③ 放送・通信設備

回答欄 ③				備考

《選択肢》

- ア 非常時の館内放送用文章を作成し、アナウンスできるようにしている
- イ テレビ・ラジオ等の公共放送を利用者向けに情報提供できるようにしている
- ウ 防災無線等、自治体からの緊急連絡を情報発信できるようにしている
- エ 特に準備していない
- オ その他→具体的に備考欄に御記入ください。

【問38 図書館間の連絡体制】 自治体内の図書館間において、震災時の連絡体制は決まっていますか。(複数回答可)

回答欄				備考

《選択肢》

- ア 決まっていない
- イ 電話・FAXの連絡網がある
- ウ メールでの連絡網がある
- エ 公用車・協力車等の巡回連絡体制がある
- オ その他→具体的に備考欄に御記入ください。

【問39 中心館機能の維持】 同一自治体内の中心館が被災した場合、中心館機能の分担について決まっていますか。

回答欄	備考

《選択肢》

- ア 決まっていない
- イ 中心館機能を負う館の優先順位が決まっている。
- ウ その他→具体的に備考欄に御記入ください。

【問40 図書館以外の部署との連絡体制】 貴自治体の他の部署との災害時の連絡体制はありますか。(複数回答可)

回答欄						備考

《選択肢》

- ア ない
- イ 電話
- ウ FAX
- エ メール
- オ 連絡車(公用車)
- カ SNS(ツイッター等)
- キ その他→具体的に備考欄に御記入ください。

【問41 図書館以外の部署との応援体制】 貴自治体の他の部署との災害時の応援体制は定められていますか。

回答欄

《選択肢》

- ア 定められている ⇒ 問42へ
- イ 定められていない ⇒ 【共通】調査は終了です。引き続き、【都道府県立図書館】、【市区町村立図書館】の各調査にお進みください。

【問42 図書館以外の部署との応援体制の内容】どのような応援体制が定められていますか。

--

【共通】調査は終了です。引き続き、【都道府県立図書館】、【市区町村立図書館】の各調査にお進みください。

全公図 調査研究事業「危機管理(震災対策等)」調査票【都道府県立図書館】

* 問1から問3については、これまでに貴自治体の図書館が最も影響を受けた被災地震について、お答えください。

【問1 県内図書館の被災状況】 当該被災地震の際、県内図書館の被災状況の情報収集をしましたか。

回答欄

- 《選択肢》
- ア 実施した
 - イ 実施しない
 - ウ 自館が被災したため実施できなかった
 - エ 被災自体がなかった
- } ⇒ 問4へ

* 問1で「ア 実施した」を選択した館のみお答えください。

【問2 県内図書館被災状況の提供】 問1で収集した情報をどのように活用しましたか。

回答欄

- 《選択肢》
- ア 住民にも役立ててもらえるようホームページなどで公開した
 - イ 県内の図書館にのみ情報提供した
 - ウ 情報収集はしたが、各館ごとの状況は公開しなかった
- ⇒ 問4へ

【問3 被災状況の提供方法】 問1で収集した情報の提供はどのような方法で実施しましたか。(複数回答可)

回答欄					備考

- 《選択肢》
- ア ホームページへの掲載
 - イ FAXによる提供
 - ウ メールによる発信
 - エ SNS(ツイッター等)による発信
 - オ その他 →具体的に備考欄に御記入ください。

【問4 都道府県下の市区町村立図書館との連絡体制】 市区町村立図書館との災害時の連絡体制は決まっていますか。(複数回答可)

回答欄							備考

- 《選択肢》
- ア 決まっていない
 - イ 電話
 - ウ FAX
 - エ メール
 - オ 連絡車(公用車)
 - カ SNS(ツイッター等)
 - キ ホームページ内の職員専用ページの掲示板
 - ク その他→具体的に備考欄に御記入ください。

【問5 都道府県下の市区町村立図書館との協力体制】 都道府県内の市区町村立図書館との災害時の協力体制は決まっていますか。

回答欄

- 《選択肢》
- ア 決まっている
 - イ 決まっていない
- ⇒ 問7へ

【問6 協力体制の内容】どのような協力体制ですか。

--

【問7 他の都道府県立の図書館との連絡協力】 他の都道府県立の図書館との間に連絡協力についての申し合わせは決まっていますか。

回答欄

- 《選択肢》
- ア 決まっている
 - イ 決まっていない
- ⇒ 問10へ

【問8 申し合わせの相手】その自治体はどこですか。

【問9 応援体制の内容】どのような応援体制が決まっていますか。

【問10 協力(援助)内容の希望】自館が被災した際にはどのような協力(援助)が欲しいですか。

①隣接都道府県から

②遠隔都道府県から

全公図 調査研究事業「危機管理(震災対策等)」調査票【市区町村立図書館】

【問1 他の図書館との連絡体制】 同一都道府県内の別の自治体の図書館との災害時の連絡体制はありますか。(複数回答可)

回答欄						備考

《選択肢》

- ア ない
- イ 電話
- ウ FAX
- エ メール
- オ 連絡車(公用車)
- カ SNS(ツイッター等)
- キ ホームページ内の職員専用ページの掲示板
- ク その他→具体的に備考欄に御記入ください。

【問2 他の図書館との応援体制】 同一都道府県内の別の自治体の図書館との災害時の応援体制についての申し合わせは決まっていますか。

回答欄

《選択肢》

- ア 決まっている
 - イ 決まっていない
- ⇒ 問4へ

【問3 応援体制の内容】どのような応援体制が決まっていますか。

【問4 都道府県外図書館との連絡体制】 他の都道府県内の図書館との間に連絡協力についての申し合わせは決まっていますか。

回答欄

《選択肢》

- ア 決まっている
 - イ 決まっていない
- ⇒ 問7へ

【問5 申し合わせの相手】 その自治体はどこですか。

【問6 応援体制の内容】どのような応援体制が決まっていますか。

【問7 協力(援助)内容の希望】自館が被災した際にはどのような協力(援助)が欲しいですか。

①都道府県内市区町村から

②都道府県から

③都道府県外市区町村(隣接)から

④都道府県外市区町村(遠隔)から